

ごとう通信

第 149 号

平成 25 年 5 月 1 日

やっと心地よい季節になってきました。僕たちのように自転車移動が多い人間は空気にとっても敏感です。同じ気温でも気持ち良かったり不快で会ったり。不思議ですね。でも、新緑の季節はやっぱり良いですね。とにかく目に優しいし。ただ！今年は風が強い日が多いです。自宅マンションは五階建ての一番上ですが、ビュービューという日も何日もありません。

た。もうちょっと穏やかな日が増えると良いですね。



さて、先月から新たに始まった新聞の連載、各地方で五月雨式に掲載されるようですが、まずは京都の知人が教えてくれました。実はどこで掲載されるのかも分かりませんし、何か所掲載されるかも分かっていません。もしかしたら皆さんが地方に旅行に行かれた時、偶然目にするかもしれませぬよ！ご報告お願いします。

准教授？ 助教授？

今年度、母校から「臨床准教授」という名前をもらいました。ま、大したことしてないので名前はどうでもいいことなのですが。ところで「准教授」って何？って感じですが。僕が学生時代、教授の下は助教授、その下が講師、

そして助手という名前と順列でしたから。そこで調べてみると、教授の下にいる人を欧米では Associate Professor と言うそうです。訳すと、教授に関わる人とか教授と連携する人などということでしょうか。逆に、助教授を英語すると Assistant Professor になります。まさに教授のアシスタント。問題は、アメリカで Assistant Professor という助手を意味するそうなんです。じゃあ、僕たちの大学でも助教授が留学することがありますが、現地では「こんなペーパーが来やがって！」などと思われていたということでしょうか。

僕はこういう職階は大学ごとに決めているのかと思ったら、ちゃんと学校教育法で規定されるんですね。今は助教授という言葉はないようです。